

国営かんがい排水事業 はさまがわじょうりゅう 迫川上流地区

事業の概要

本事業は、宮城県の北部に位置し、栗原市及び登米市にまたがる 6,601ha の水田地帯において、農業用水の安定供給及び施設の維持管理の費用と労力の軽減を図るため、荒砥沢ダム及び小田ダムの操作管理設備の整備を行うものである。

1. 受益面積	6,601ha		
2. 受益者数	4,762人		
3. 主要工事計画	工種	数量	事業費
	ダム操作管理設備（改修）	1式	990百万円
4. 国営総事業費	990百万円		

事業の目的・必要性

本地区の営農は、水稻を中心に、水田の畑利用による大豆のほか、きゅうり等の野菜や飼料作物等を組み合わせた農業経営が展開されている。

本地区の基幹的な農業水利施設は、国営迫川上流土地改良事業（昭和 51 年度～平成 8 年度）、国営迫川上流（二期）土地改良事業（平成 3 年度～平成 20 年度）等により造成されたが、両ダムの操作管理設備においては、経年的な劣化により、突発的な故障が生じており、農業用水の安定供給に支障を来しているとともに、施設の遠方監視が困難になるなど、維持管理に多大な費用と労力を要している。

このため、本事業では、老朽化により機能低下したダムの操作管理設備の整備を緊急に行うことにより、農業用水の安定供給及び施設の維持管理の費用と労力の軽減を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定に資するものである。

概要図

迫川上流地区 概要図

